

# 平成 29 年大阪医科大学医師会総会議事録

大阪医科大学附属病院中央検査部／書記 村尾仁

日 時：平成 29 年 6 月 12 日（月）18：00～19：00  
場 所：大阪医科大学第 2 会議室（総合研究棟 12 階）  
出 席：米田会長、 森脇副会長、梶本理事、 萩森理事、 村尾理事、  
東理事、 樋口評議員、浮村評議員、岡田評議員、新田評議員、  
瀧谷評議員、大道評議員、寺崎評議員、林編集委員、臼田会計（敬称略）

会長が、15 名出席、247 名委任状計 262 名会員数 496 の過半数 249 を超えているので、総会が成立することを宣し、開会した。

議長に森脇副会長が選出され、議事が進められた。

## 1. 平成 28 年度事業報告（米田会長）

定常的な活動を着々と行っている。

### 1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が 495 名（平成 28 年 5 月 31 日現在）であった。研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、米田会長が日本医師会と大阪府医師会と大阪医科大学医師会の役割の違いや、医賠償保険等医師会入会のメリットを説明し、勧誘を行った。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーも例年通り開催された。

大阪医科大学医師会の役員は、鳴海先生に副会長に、瀧谷先生に小児科の評議員、元村先生に看護部の評議員、元村先生と津田先生に編集委員にご就任いただいた。他の役職に変更はない。

医師資格証は、初年度手数料と年間使用料が無料となり、利用しやすくなった。医師であることが証明できるので、組織に属していない医師には有用である。更新料は若干かかる。

日本医師会生涯研修制度は、医師免許生涯交付のために医師が自主的にしっかり研修していることを示す大切な制度である。研修会参加時には、必ず大阪府医師会生涯研修チケットを提出するよう、大阪府医師会からも強く求められている。

大阪医科大学医師会のホームページの更新も定期的に行っている。当医師会についての情報や、大阪医科大学医師会会報第 46 号と第 47 号を掲載した。

### 2) 大阪医科大学医師会の学術活動

大阪医科大学医師会報を 2 号発行した。9 月 15 日に発行した第 46 号では特集を 2 つ設けた。ひとつ目は大阪府医師会会長に就任された茂松先生に「医師会の今後～すべての医療者が連携を～」を執筆いただき、二つ目は「災害医療派遣チーム DMAT—熊本地震—」について座談会を開催した。3 月 15 日に発行した第 47 号では「小児医療センター～その構想と展望～」について座談会を開催し特集として掲載した。

学会等助成は、平成 27 年度に選考した平成 28 年度分、2 学会に計 15 万円を助成し、6 月 13 日に開催した当医師会総会内で受賞式を行った。10 月に平成 29 年度分の公募を行い、12 月に 2 学会に助成することを決定した。

北摂四医師会医学会総会を、当医師会が当番となり、6 月 11 日(土)に大阪医科大学臨床第 I 講堂で

開催した。特別講演に米田会長が「最近の新型うつ病の動向」について講演し、一般演題 9 題の発表があった。北摂四医師会医学会総会優秀演題賞には、「高槻赤十字病院における女性医師のワークバランス～子持ち小児科医の一例～」を発表した高槻赤十字病院の大関先生が選考された。平成 27 年度まで大阪府医師会勤務医部会第 2 ブロックから 5 万円を授与していたが、平成 28 年度から北摂四医師会医学会が出資することとなった。

北摂四医師会分科会のうち「骨盤疾患フォーラム」が閉会となった。休会中の分科会もあるが、活動中の各分科会は研究会を開催した。産業医講習会は、臼田評議員が開催した。

北摂四医師会医学会のホームページには、総会の案内や抄録、分科会の開催案内等を掲載しているので、活用願いたい。

大阪府医師会勤務医部会第 2 ブロックは、ブロック委員会 4 回開催し、積極的に活動した。1 月 14 日に開催した第 2 ブロック研修会では、佐浦教授に「健康寿命の延伸を目指す新しいリハビリテーションの取り組み」について講演いただいた。

### 3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪 5 大学医師会・地域医師会との連携強化

日本医師会代議員会は、6 月 25 日に第 137 回、6 月 26 日に第 138 回が開催され、日本医師会代議員である米田会長が出席した。

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会が毎月第 3 金曜日 14 時から開催されるが、出席しにくい時間帯で米田会長が出席できず、内容を伝達できず申し訳ない。大阪府代議員会は、5 月 28 日に第 306 回、6 月 23 日に第 307 回、3 月 23 日に第 308 回が開催され、米田会長が出席した。

12 月 1 日に「新専門医制度」をテーマとした在阪 5 大学ならびに 2 行政医師会役員との懇談会が開催され、米田会長、森脇副会長、萩森理事が参加し、鈴木教授に「本学における専門医制度及び総合診療専門医養成の取り組み」を発表いただいた。

大阪医科大学医師会に所属している大阪府医師会各種部会や委員会のメンバーは総会資料の通りで、各委員積極的に参加した。

全国医師会勤務医部会連絡協議会総会が大阪府医師会担当で「2025 年問題と勤務医の役割」をテーマに 11 月 26 日に開催され、米田会長が出席した。数百人が参加する大規模な総会となった。

全国大学医師会連絡協議会は開催がなかった。

## 2. 平成 28 年度会計報告・会計監査報告（臼田会計）

臼田会計より、平成 28 年度は単年度 95 万円の赤字で、会報デジタル化初期費用が必要であった 27 年度と比べるとその分赤字幅が少なくなっていることが報告された。

土手監事と麻田監事ともに会計報告に間違いがないことを認めた。全会一致で承認された。

## 3. 平成 29 年度事業計画（米田会長）

事業を継続的に進めていく。

### 1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が 496 名（平成 29 年 5 月 31 日現在）となった。4 月 3 日に開催された研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、米田会長が医師会の役割や医賠責保険等について説明し、勧誘を行った。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーが 4 月 1 日に開催された。

当医師会の役員については、槇野評議員と石田評議員が内科学 I から内科学 IV に異動されたため、内科学 I の評議員が空席となり、現在選任中である。他の委員に変更はない。

医師資格証、日本医師会生涯研修、大阪医科大学医師会ホームページについては、昨年度に引き続き実行する。

## 2) 大阪医科大学医師会の学術活動

大阪医科大学医師会報を例年通り年2回発行する。9月15日発刊予定の第48号は特集として「卒前教育の在り方―初期臨床研修のより良い連携をめざして―」を掲載する予定である。第49号は3月15日に発刊する予定である。

学会等助成金は、昨年度選考した2学会にそれぞれ10万円と5万円、計15万円を助成し、平成30年度助成公募を10月1日より1ヵ月間行う。

北摂四医師会医学会は、第26回医学会総会が茨木市医師会の当番で6月10日(土)に実施された。特別講演は田中特別任命教員教授に「直腸がんに対する手術の変遷」を講演いただき、好評を博した。一般演題は良い演題が10題集まり、非常に活発な会となった。これから優秀演題1題を選考し、1月に予定されている大阪府医師会勤務医部会第2ブロック研修会で5万円を授与する。北摂四医師会医学会役員会も同日実施した。分科会の開催をホームページでアナウンスしているので、開催が決まれば当医師会に連絡願いたい。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックでは、昨年度に引き続き積極的に活動を進め、第2ブロック研修会を1月に開催する予定である。

## 3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

日本医師会の代議員会は、6月25日に第140回が、3月25日に第141回が予定されている。

大阪府医師会の代議員会は、6月29日に第309回が、3月22日に第310回が予定されている。

今年度は、日本医師会女性医師支援センター事業「医学生、研修生等をサポートするための会」の当番となった。この会は、若い医師や女性がどのようにキャリアを積んでいくかを検討することが目的である。シンポジウムのメンバーの人選を、平成27年12月に実施した座談会「女性医師のキャリアを支える」に参加いただいたメンバーと昨年度北摂四医師会医学会優秀演題賞の演者の中から行っている。開催は2月3日にP302教室を予定している。

在阪5大学医師会との懇談会は、11月9日に開催が予定されている。

全国医師会勤務医部会連絡協議会は、10月21日に開催が予定されている。開催場所が札幌なので、参加は難しい。

全国大学医師会連絡協議会は、東京医科歯科大学を中心に大学としての提案をしていこうと一時期盛り上がっていたが、現在は忙しいためか開催されていない。

## 4. 平成29年度予算案(臼田会計)

臼田会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示があった。単年度で見ると65万円程度赤字である。

米田会長より、次のような補足があった。医師会費を納入しない会員がいると当医師会が代って納入しなければならないので困るが、最近は納入率が高くなってきている。会費は4500万円程度入ってくるがそのまま日本医師会と大阪府医師会に納入するので右から左に流れ、実質400万円程度で活動し、単年度で見ると赤字である。400万円程度の活動に対して、2500万円という多くの繰越金を大阪医科大学医師会内部に貯めておくのはいかがなものか思う。できるだけ支出をおさえながらももう少しの間単年度赤字80から90万円で運営し、繰越金が1500万円くらいになった時に大きく見直しをかけることとし、今はこのままの進めていきたいと思う。

今年度予算案は、全会一致で承認された。

**5. 平成 29 年度学会等助成贈呈式**

採択された 2 題について計 15 万円の目録を贈呈した。

以上